



【伊勢市】
医療法人 MSC
齋藤 公正 理事長
<経歴>
愛媛大学医学部卒
山田（現伊勢）赤十字病院
呼吸器科副部長
<現在>
さいとう内科呼吸器科
三重スリープクリニック院長
三重ハートセンター非常勤医

病気の基礎知識や予防法をアドバイス



Simple 健康カルテ

File No.21

「肺の生活習慣病— COPD とは —」

当院に受診する患者さんの中でも、もっと早く受診されればこんなに悪くならなかったのにと考えさせられるCOPDの方も少なくありません。今回はまず、COPDがどのような病気なのかを解説します！

2030年の世界死亡順位予測 (WHO, 2012より)

2010年	2030年
1. 虚血性心疾患	1. 虚血性心疾患
2. 脳卒中・脳血管疾患	2. 脳卒中・脳血管疾患
3. 肺炎・気管支炎	3. COPD (30%増加)
4. COPD (300万人)	4. 肺炎・気管支炎
5. 下痢性疾患	5. 交通事故
6. AIDS	6. 肺がん
7. 結核	7. 結核
8. 肺がん	8. 高血圧性心疾患
9. 交通事故	9. 胃がん
10. 異常分娩	10. AIDS

皆さんはCOPD(慢性閉塞性肺疾患)という言葉を知っていますか？ 最近CMなどでも放送されているので、言葉自体はご存知の方も多いと思いますが、COPDが実際にどんな病気なのか詳しく知っている方は少ないかもしれません。

COPDとは「Chronic Obstructive Pulmonary Disease (慢性閉塞性肺疾患)」の頭文字をとった名称です。

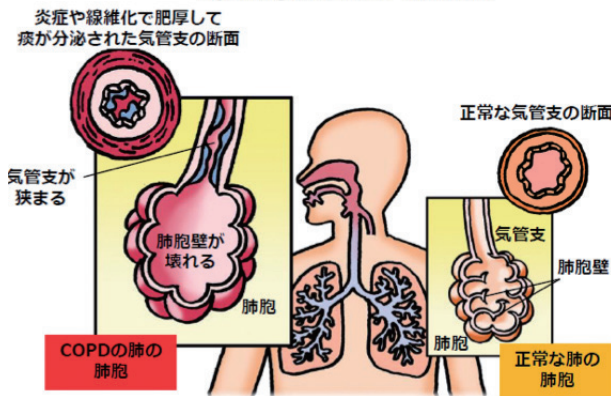
2012年に、WHOは新たに、「COPDは2010年の世界死亡順位第4位であり、2030年には死亡順位第3位になると推定される」という見解を発表しました。

【COPDって、どんな病気？】

COPDの原因の9割は喫煙だといわれています。ですから別名「肺の生活習慣病」とも呼ばれています。長期間にわたって喫煙を続けていると、タバコの煙が肺を刺激し、肺に炎症が起きます。

空気の通り道である肺の気管支に炎症が起けると、線維化といって**気管支の壁が厚くなるため、気管支が狭くなり空気の流れが悪くなってしまう**。また、**咳や痰の分泌も増えます**。これが慢性気管支炎と言われる状態です。さらに、気管支の先にある肺胞はいほうは、吸い込んだ空気から酸素を取り込み、体内の二酸化炭素を放出する場ですが、肺胞にも炎症が及ぶと、**肺胞の壁が壊れ、伸びきった状態**になってしまいます。これが肺気腫です。COPDとは、この慢性気管支炎と肺気腫が合わさった病気です。

「健康な肺とCOPDの肺」



COPDが進行すると、この伸びきった肺胞と狭くなった気管支の影響で、**肺に貯まったよんだ空気(二酸化炭素)がうまく吐き出せなくなり、残ってしまいます**。そのため、新鮮な酸素が多く含まれた新しい空気を吸い込もうにも、吸いこめない状態になります。階段や坂道を急いで登り、激しく呼吸をすればするほど、このよんだ空気が残る割合が増えてしまいます。これがCOPD患者さんの「労作時息切れ」の原因です。

ですからCOPDの3大症状が、この「**労作時息切れ**」「**咳**」「**痰**」です。

【どんな人が病院を受診すべきか？】
煙草を吸う人すべてがCOPDになる訳ではなく、5人に1人の割合で発症するとされています。ただ、労作時の息切れが明らかになる頃には病状がかなり進んでいますので、それまでに受診する事が大切です。

① 60歳以上で、今までの人生でタバコを100本以上吸った事がある人は一度受診すべきです。② 年齢に関係なく、「労作時息切れ」があれば、要受診。「咳」「痰」が慢性的に続いている人も受診すべきです。

COPDは治せない病気と思われがちですが、早期発見早期治療を開始する事で、重症化を防ぐことができます。

